

平成19年度第4回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 約

日時：平成20年3月21日（金） 午後3時から午後5時00分

場所：名古屋第一赤十字病院 会議室1・2

委員

出席者：安藤委員、石川委員、石田委員、一木委員、岩本委員、岡田(純)委員、岡田(節)委員、可世木委員、木村委員、小山委員、榊原委員、柴田委員、鈴木(悟)委員、鈴木(千)委員、高橋委員、寺澤委員、成田委員、早川委員、二村委員、松澤委員、森川委員、山田委員、吉田委員

欠席者：山崎(俊)委員、山崎(嘉)委員

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課主幹(母子保健グループ)、名古屋市子ども青少年局子育て家庭部子育て支援課長、名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

欠席者：名古屋第一赤十字病院第二産婦人科副部長

司会者：名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

議長：安藤会長

1 安藤会長あいさつ

2 吉田技監あいさつ

3 議事

(1) 平成19年度愛知県周産期医療情報システムについて

愛知県周産期医療情報システム」の一般向けページ掲載予定の搬送基準について

- * 新生児の搬送基準の詳細は資料 1 - 2 を参照ください。
- * 一般向けにより分かりやすい内容・表現にしたほうが良い
- * 次回協議会に新生児搬送基準は再度提出、産科分も提出予定。

(2) 平成19年度研修会の報告と今後の課題について

実施した研修会

【平成20年1月26日(土)(尾張東部医療圏)公立陶生病院】

名古屋第一赤十字病院小児科横塚太郎先生による「新生児心肺蘇生法講習会」を行いました。

【平成20年2月23日(土)(尾張北部医療圏)小牧市民病院】

名古屋第一赤十字病院小児科孫田みゆき先生による「新生児心肺蘇生法講習会」を行いました。

【平成20年3月1日(土)(名古屋医療圏)名古屋第一赤十字病院】

名古屋第一赤十字病院小児科鬼頭修先生等による「新生児心肺蘇生法について」の講演会を新生児看護セミナーと共催で行いました。

【平成20年3月13日(木)(東三河北部・南部医療圏)豊橋市民病院】

大野レディスクリニック院長大野泰正先生による「妊娠高血圧症候群の新たな展開について～子癇脳出血を中心にして～」を開催しました。

【平成20年3月15日(土)(名古屋医療圏)名古屋第二赤十字病院】

神奈川県立こども医療センター新生児科川瀧元良先生による「重症心疾患の予後改善をめざした周産期医療 簡単で有効な胎児診断を中心として 」を開催しました。

【平成20年3月15日(土)(西三河北部医療圏) トヨタ記念病院】

豊田市こども発達センター副センター長のぞみ診療所小野芳裕先生による「学童期以降の脳性麻痺児の姿勢と運動発達」を開催しました。

今後の開催予定

- * 安城更生病院(西三河南部医療圏)主催で平成20年6月7日(土)に新生児心肺蘇生法講習会を開催します。学会より認証を受けられる講習会となりますので、人数に限りがありますのでご了承ください。
- * 平成20年度は愛知県心身障害者コロニー中央病院(尾張医療圏)とトヨタ記念病院(西三河北部医療圏)が主催の研修会を予定しています。
- * 研修教材用に新生児の人形を購入しましたので、貸し出しします。引き続き、新生児心肺蘇生法の練習用の未熟児人形を2体、成熟児人形を3体の貸し出しも行っています。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

(3) 平成19年度愛知県周産期医療調査・研究事業の中間報告

【愛知県下の脳血管障害合併母体救急の実態調査】

名古屋第一赤十字病院

石川 薫

- * 来年の医療調査・研究事業につきまして、ご意見ご提案をお願いします。
- * 予算の関係上2題～3題を予定しています。

(4) 会長辞任に伴う役員改選について

- * 安藤会長が平成20年4月1日より、日本赤十字社本社への籍の移動に伴い会長を辞職されますので、平成20年4月1日からの会長を改選します。

会長 石川委員

石川委員あいさつ

(5) 報告事項

愛知県周産期医療システム参加病院の充実について

- * 詳細は資料 2-1・2-2を参照ください。
- * コロニー中央病院は4月1日より産科を開設します。当面は、スタッフ・整備状況から日勤帯のみの対応となります。
- * 従来はコロニーのNICUを利用する際は、医師が2名同乗してコロニーで帝王切開後、母体を搬送元病院にもどしていたが、今後は母体の管理もお任せしてよいのか。
- * 帝王切開後、合併症が無い限りコロニーで管理し、病状が重い場合はUターン搬送を検討していますが、まだ詳細が決まっていませんので、ケースバイケースの対応となります。
- * 情報の共有化と活発な意見交換のため、センターである11施設の小児科・産科、双方の先生に協議

会に出席していただきたい。

- * 会議は2 / 3以上の出席がないと成立しないので、当面は現状どおり委嘱委員は1名とし、もう1名の先生はオブザーバーとして出席をお願いしたい。
- * オブザーバーの先生には議決権はないが、交通費をお支払いします。
- * 聖霊病院小児科は、周産期協力機関としNICUの応需情報の開示に参加します。聖霊病院産婦人科は現状ではハイリスク妊婦を基本的には応需していないので、小児科のみの参加になります。
- * 院外出生児を対象にしますので、自施設のNICUが満床の際に連絡ください。

<搬送用クベースについて>

- * 搬送用クベースの整備について平成2年までは補助制度があったが現在は廃止されており、保有施設は各自で負担して維持している。
- * 分娩を取り扱っている診療所で搬送用クベースを保有している施設は少なく、新生児搬送のために公費で整備できないか。
- * 整備する場合、どこが保有し、どのように運用するのがのぞましいか。
- * 各診療所で保有するより、公立病院・受入病院に保管されており、搬送時に借りる方法が良いのでは。
- * 医療機器安全委員会の観点からみて、いつでも安全に使用できるよう継続的なメンテナンスが必要。
- * 新生児を搬送するにあたり、搬送先、搬送元のどちらの医師が同乗するのか、どちらの施設が消防に連絡を取るのか各地域ごとにルール作りを要する。
- * 県境や地域によって慣習やシステムが異なるので、協議会で決定しても形だけになってしまうので、それぞれの地域ごとに共通の認識を持てるよう努めなくてはならない。
- * 救急車にも搭載できるクベースが望ましい。その際は搬送時に交通事故が起こることも想定して整備したほうがよい。
- * 協議会として、今後検討していく議題の一つにしたい。

(6) その他

助産所の嘱託医および嘱託医療機関の確保状況及び分娩数等の報告

- * 愛知県の分娩数64,000件のうち1.2%にあたる800件が助産所の分娩であり、全国平均より少し高い。
- * 全国で10%くらいの助産所が嘱託医・嘱託医療機関を確保していない状況にあり、愛知県も一部の助産所は決定していないため、今後とも協力をお願いします。

総合周産期母子医療センター開設10周年記念講演会について

- * 7月5日(土)に名古屋第一赤十字病院(内ヶ島講堂)で開催しますので、ぜひご参加ください。

以下非公開

<次回医療協議会開催について>

- * 平成20年度第1回周産期医療協議会を、平成20年6月6日(金)「名古屋第一赤十字病院 会議室1・2」にて開催します。